

日本地球電気磁気学会会報(第13号)

1964年8月10日

日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区養生町3

東京大学理学部地球物理学教室内

電話(812)2111, 内線 6476

振替 東京4860

第36回講演会および総会日程

今秋間かれます第36回講演会および総会は、次のように仙台において開催致します。多くの会員の方々の参加を期待しております。

会期：1964年10月17日(土)、18日(日)、19日(月)

開催担当機関：東北大学理学部地球物理学教室

会場：東北大学記念講堂(別名、松下会館とも称され、東北大学教養部^{第3館}内校内にあり、片平丁の理学部とは違う所にあります。別紙地図参照)

今秋の学会はオリンピックや他学会などで旅館が混雑することが予想されますので準備の都合上、次のように申込締切を致します。

講演申込締切：9月10日(木)必着

講演予稿掲載アブストラクト提出締切：9月19日(土)必着

宿泊及びエクスカーション申込締切：9月10日(木)必着

申込書類送付宛先：仙台市片平丁 東北大学理学部地球物理学教室

玉尾 友 宛

会員の皆様の御便宜を考慮して、地球電磁気学各専門分野の日程はわりわけさ次のように致す予定でありますことをご知らせしておきますから、それを御参照の上、講演、宿泊、エクスカーション申込を9月10日までにおすませ下さい。但し国家公務員宿舎及び地方公務員宿(別紙旅館御案内で19及び20)に宿泊を希望される方は、8月末日までにお申込み下さい。

日	午前	午後	夕刻
10月17日(土)	超高層大気 (地磁気関係)	超高層大気 (地磁気関係)	評議員会
10月18日(日)	超高層大気 (大気光、VLF)	総記念昼 会 食	超高層大気 (電離層) 懇親会
10月19日(月)	磁気圏層・地球内部	古地磁気・岩石磁気	エクスカージョン
	宇宙線	空中電気・空電	

エクスカージョン 第3日(10月19日)講演会終了後、蔵王エコーラインに行くエクスカージョンの計画を下詔の如く計画しております。出発：講演会終了後講演会場から、帰着：翌10月20日午後3時頃仙台駅着。予定コース：仙台→遠刈田(または青根)温泉、ここで19日初泊、20日：温泉→エコーライン→蔵王頂上→エコーライン→城ヶ→川崎→仙台。参加者負担経費：バス代500円および宿泊料1500円程度。参加人員：バスの都合で申込先着50名様に限らせていただきます。参加申込は、宿泊申込等にエクスカージョン申込記入欄がありますから、そこに御記入下さい。

仙台駅から学会会場までの交通案内

(イ) バス

会場最寄 停留所名	最寄停留所 から会場まで	バス行先	国鉄仙台駅から バス東車場まで	料金
公務員宿舍前	徒歩1分	山屋敷 青葉城址 ゴルフ場	徒歩3分	15円
教養部本部前	徒歩5分	豊岡 (大学病院廻りを除く)		
		川内(仙南バス)	徒歩5分	

(ロ) 市電

○仙台駅前乗車(乗車場まで国鉄仙台駅より徒歩1分)、駅からみて左手

に行く電車で、長町または広瀬橋行以外はどれに乗ってもよい。大町一丁目(天文台前)下車、会場まで徒歩12分。

○各旅館からは、一番近い電車及びバス停留所は、別紙地図上に示してあります。

○仙台市電は、乗換一回限り可能で、運賃は均一15円。バスは乗換券を発行しません。

い) タクシー

国鉄仙台駅前から学会会場まで料金約140円

講演会および総会に関する注意

最近本学会での講演数は毎回かなり多いにも拘らず、いつも予定通り進行しておりますのは、講演者各位の積極的な御協力の賜であり、今後ともこの美風を保持したいと思っております。学会講演を有効に致しますために、先に会員各位にお配りしました「論文執筆要綱」の末尾に講演の行い方、ビラヤスライドに関する注意、講演予稿の書き方なども記載されてありますので、それらを参照されて短い講演時間を十分に効果的に使われますようお願い致します。

なお講演予稿集に集録するためには予稿締切を10月19日としますが、し締切日に予稿提出が間に合わない方々は、御自分で150部以上予稿を御持参下さい。御持参いただく予稿の大きさには必ずB5サイズ(横約18cm、縦約26cmで予稿集と同じ大きさ)とし、横書きで左端を3cmおけて下さい。

田中館賞候補論文推薦および総会議題提案をされたい会員の方々は前田憲一委員長(京都市左京区吉田 京都大学工学部電子工学教室)あてに適切な様式の書面にて来る昭和39年9月15日(火)までに御申出下さい。田中館賞候補論文を推薦される場合には、御申出が受理されますと、推薦看完に、推薦理由説明書、推薦論文別刷各12部を提出していただくよう委員長から依頼が参りますことも予め御承知おき下さい。

新入会員紹介

第12号会報でお知らせしました後に、新しく正会員になられました方々は次の通りです。(敬称略)

山下 ま子(名大空研)

藤目 俊郎(京大工、電子)

丸橋 充英(東大理、地物)

奥谷 晶子(理研)

岩崎 昇(東大理、地物)

北村 直子(東大理、地物)

矢作 直弘(岩大、物理)

山岡 誠(管研)

会誌 Journal of Geomagnetism and Goelectricity 刊行状況

会誌 J. G. G 誌は Vol. XVI. No. 1 が刊行され、No. 2 も間もなく発行される予定であり、No. 3 は現在印刷にかかった状態です。最近会員各位からの投稿が増し、この調子で参りますと、この数年来とかく遅れかちになっておりました会誌発行も間もなく順調な軌道にのります。今後とも一層本学会の発展のために多くの論文をお寄せ下さることを期待しております。論文執筆等に当っては、今春の学会の時あるいは、その直後に皆様にお届けしました「論文執筆要綱」を十分に御参照になり、編集担当委員の労をなるべく軽減されるよう御協力下さい。

なお「論文執筆要綱」はまだ残部がございますから御希望の方は学会事務局に葉書にてでも御請求下されば無料でお送り致します。

学会事務局からのお知らせ

本会報に添えまして

昭和39年度会費を既にお払い込みになった方には、J. G. G 誌第16巻第1号を、また春季学会の折に記念写真をお申込になった方には、その写真をお届け致しております。昭和39年度会費未納の会員に対しては、慣例により会費の御払込がありますまで、雑誌を当事務局に預らせていただき、会費納入され次第雑誌をお届けいたします。

なお、春季学会の折、受付の不手際により、昭和39年度会費をお払込になったのに学会誌が同封されていなかったり、また記念写真を申込まれたのに今回写真が同封されていない場合には、その旨御申出下さい。実は記念写真申込者の中で会員名簿に掲載されていない方々からの申込が数件あり、どなたにお送りすればよいか困っておりますので、お教えいただきたいと思っております。受付でのメモによりまして

堤 様(阪市大)、 鈴木様(阪市大)、 仲野様(京大理)から申込をいただき料金もいただいております。ご存じの方はどうぞ正しい宛先、ご氏名を学会事務局にお知らせ下さい。